

早期からの業界・企業理解が鍵に。 モチベーションを高めるキャリア支援

國學院大學

Kokugakulin University

就活の早期化にいち早く対応 低年次からキャリア意識醸成

「なりふり構わず就活するのは、カッコ悪いんじゃないか」。國學院大學のキャリア授業「ライフデザインⅡ」に登壇した4年生の内定者は、就職活動を始めた当初の胸の内をそう口にした。だがインターンシップに参加してみると、意欲に溢れる就活生の方が、自分よりも圧倒的に輝いて見えたという。ここから彼は全力で就活に打ち込み、大手IT企業から内定を得る。「今頑張つて何が悪い。そんなマインドに変わると、就活は楽しいよ」。この率直な言葉が胸に響いたのか、受講生たちは領きながらメモを取った。2年次向けのこの授業は、プロジェクト型学習のほか、内定者の就活体験談も交えて、キ

リアを考えていく正課科目だ。

学生優位の売り手市場が続く一方、大手企業はまだ狭き門であり、さらに採用活動は年々早まる傾向が進む。キャリアサポート担当部長の木村都氏は「本学では、低年次からのキャリア意識醸成により注力しています」と語る。「特に鍵を握るのは3年次のインターンシップです。しかし、2年次の段階で業界や企業を知つて準備をしていないと、3年次4月の申込みの際にエントリーシートが書けません。だからこそ、学生たちには早い段階から就活や企業のリアルに触れる場を提供し、働くことへの意識とモチベーションを高めるキャリア支援を大切にしています」

優良企業との重要な「接点」となる『企業セミナー』

毎年秋に学内で開催する『企業セミナー』は、國學院大學が学生と優良企業との重要な接点と位置付けるキャリア支援の一つだ。24年度も、大手総合建設企業やメーカー、出版社をはじめとする多彩な顔ぶれの60社以上が登壇し、延べ約1300名の学生が参加。近年は1・2年生の参加率が増加傾向にあり、採用活動の早期化を受けて開始時期も9月へと早めている。中でも力を入れるのが、BtoB企業の紹介である。大規模事業を手掛ける世界的な優良企業がひしめく業界でありながらも、BtoB業界は学生にはいま一つ馴染みが薄い。そこで同セミナーでは、現場を熟知する企業担当者にビジネスの醍醐味や最新動向を語ってもらうことで、学生たちの知的好奇心を喚起し、業界・企業選びでの



(左上) 学内のキャリアサポート課には、毎年秋になると「内定者アドバイザー」が日替わりで常駐。IT・金融・商社といった人気業界を中心に内定を得た4年生約30名が、自身の体験をもとに学生目線のアドバイスなどを行っている。
(右上) 就活のポイントや先輩のリアルな就活体験記を集めた『就活パーフェクト手帳』、優良企業を網羅した『企業大研究』などを毎年刊行。就活生のバイブルとなっている。
(左下) 『業界別体験イベント』では、普段は目にすることのできない現場の内部やバックヤードなどの見学を通じて、仕事への理解を深めている。

企業が採用活動の開始時期を早める中、大学のキャリア支援の現場では、どのような取り組みが進んでいるのか。國學院大學学生事務部キャリアサポート担当部長の木村都氏に話を伺った。

取材・文／酒井 撰

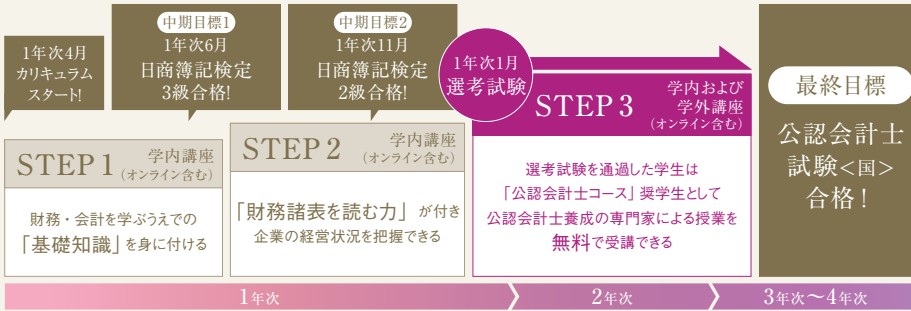
難関試験突破を4年間徹底サポート!

独自のキャリアプログラム K-PLAS[ケー・プラス]

▶ 将来を見据えた2コース 国家公務員総合職コース 公認会計士コース

無理なくモチベーションを継続できる独自の3ステップ方式で、学生の目標達成をバックアップします。

■ 公認会計士コースの場合



K-PLAS受講生の声

公認会計士試験<国>に合格 (2024年度)



清野 巴菜さん

経済学部 経営学科 4年 EY新日本有限責任監査法人内定*

計画を立てて毎日やるべきことを明確にすることで、大学の授業とK-PLASを両立。手厚い支援のもと、最後まで諦めずに努力し続けることができました。*内定は、2025年2月時点

4年連続で合格者輩出!

公認会計士試験<国> 合格実績

2021~23年度 現役合格者 各1名
2024年度 現役合格者 2名

視野を広げさせることを狙う。

これに加えて、空港、金融機関の支店、建設現場、官公庁など、人気業界の現場に足を運び、働く人の熱量に触れる「業界別体験イベント」も一層の拡充を図る。こうしてモノの見方や行動を限りなく社会に近づけたうえで、学生たちはインターンシップに臨むのである。同学では二人あたり20社以上のインターンシップ参加を呼び掛けている。「優良企業から内定を得る学生ほどインターンシップへの参加数やキャリアサポート課での面談数が多いなど、活動量の高さが結果に結びつくことが、本学でもデータにあらわれています。また、業界・企業を知って選ぶのと、知らずに選ぶのでは、就活を終えたあとの満足感もまったく違ってきます。人からどう見られようとも、高い熱量で就活を頑張つてほしいですね」

企業との太いパイプも強みに 独自のデータブックを刊行

これら充実したキャリア支援の屋台骨となっているのが、10年間かけて構築してきた企業との太いパイプだ。同学では、キャリア支援担当の職員が「一社一社訪問して調べた情報を基に、独自基準で絞った優良企業約200社を紹介するデータブック『企業

大研究』を16年度から毎年発行している。この制作のために、職員が年に二度各社を訪ねる中で強化してきた企業との接点も、強みとなっている。「私たちは各社との豊富なコミュニケーションで得た最新情報を学生に繋ぐことで、企業や社会の状況の変化を敏感にキャッチした適切な支援ができる体制を整えています」

難関試験合格者を続々輩出 キャリアプログラム『K-PLAS』

キャリア支援のもう一つの柱が、国家公務員総合職(キャリア官僚)と公認会計士という難関試験突破をバックアップするキャリアプログラム

『K-PLAS(ケー・プラス)』だ。こちらの試験も長期にわたる学修の積み重ねが欠かせないことから、K-PLASではモチベーションマネジメントを徹底した支援システムを構築。独自の3ステップ方式で受講生の意欲を引き出すほか、奨学金制度により手厚い支援を行う。こうして国家公務員総合職試験では、22年度から3年連続で内定者を輩出。公認会計士試験も、21年度から4年連続で現役合格者を出す。「合格実績と共に支援体制の改良を重ね、ノウハウも蓄積してきました。K-PLASでは、受講生同士のタテの繋がりも強化しています。好循環が生まれつつあると、私たちは確信しています」

Information

國學院大學



1882(明治15)年創立。大学令により1920(大正9)年に大学に昇格し、私立大学として日本で最初に認可された8大学のうちのひとつ。文・神道文化・法・経済学部の学生が4年間通う「渋谷キャンパス」は、渋谷の中でも閑静なエリアに位置し、最新の学修設備と研究施設を完備。人間開発・観光まちづくり学部の学生が4年間通う「横浜たまプラーザキャンパス」は、広大なグラウンドのほか、専門的な学修を支える特別教室や演習室を数多く備える。

● DATA

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

TEL 03-5466-0141 (入学課)

URL <https://www.keio.ac.jp/admission>

PR